

上尾市市民活動支援センター情報紙



むすびん

令和8年
7月
第61号

〒362-0075 上尾市柏座一丁目1番15号
TEL : 048-778-1810 FAX : 048-778-1820 E-mail : s53500@city.ageo.lg.jp

お知らせ！

市民活動体験教室「はじめての一步」

「アロマ ハンドトリートメント体験教室」
参加者を募集します！



アロマの使い方や活用法を学び、心身をリフレッシュしませんか

日 時：10月1日(木) 13:30~15:30

会 場：市民活動支援センター会議室

定 員：12人（申込み先着順）

対 象：市内在住の人

費 用：500円

持ち物：筆記用具、バスタオル、フェイスタオル1枚、袖がひじまでまくれる服装

講 師：アロマ スタディ

代表 高橋和子さん

申 込：9月1日(火) 9:00より

お申込み方法は、9月発行の「広報あげお」
および市民活動支援センターのホームペー
ジ、Xにてご案内します。

市民活動体験教室「はじめての一步」 **「はじめての朗読体験教室」** を開催しました！

市民活動体験講座「はじめての朗読体験教室」が7月7日、市民活動支援センターで開催されました。「朗読の会たんぽぽ」の倉片孝恵さんが講師となり、市民12名と会員14名が詩や童話の朗読をともに楽しみました。

詩「いろんなおとのあめ」の朗読では、参加者が順番に「ぴとん」、「ぱらん」、「しゅるん」など状況に合わせた雨の音を発声。情景を想像しながら声で表現する楽しさを体験しました。

参加者のひとり「作品を読み解いて、声に表すのが面白かった」と話していました。



**当センター入口ショーケースの展示物を
リニューアルしました！**



「木目込み人形の会」
のご厚意により、6月から、会メンバーの作品を
センター入口のショー
ケースに展示しています。

心のこもった力作ぞろ
いですので、当センター
へお越しの際はぜひご覧
ください。



協働のまちづくり通信

上尾市協働のまちづくり推進事業は、市民活動団体から市と協働したい事業の提案を募集し、その中からふさわしい事業を採択し補助金を交付する事業です。多様化する社会的課題に対し、市民と市が互いに連携し、協力しながら解決していくことを目指す取り組みです。

6月25日(木)の第2次審査で採択が決定した下記の6団体については、担当課と事業の役割分担を取り決め、令和9年2月末まで協働事業を実施し、3月下旬に事業報告会を開催する予定です。

●令和8年度「協働のまちづくり推進事業」採択団体のご紹介

① 上尾市ボランティア連絡会		所管課	福祉総務課
名称	第4回あげおボランティア祭り		継続
テーマ	市内ボランティア団体との連携と交流		
事業内容	「幅広いボランティア活動を通じ、明るい住みよい上尾の街を作ろう」を目標に、市内ボランティア団体と地域住民および近隣大学の学生との交流・連携を深めることで街の活性化を図る。「ボランティア祭り」では、各団体の活動展示・実演・体験などによってボランティアや人と交流することの楽しさを実感してもらい、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりと社会貢献への関心を促す。		
② ReVA復興ボランティアチーム・上尾		所管課	危機管理防災課
名称	東日本大震災から15年～命を守る地域づくり～		新規
テーマ	東日本大震災から15年。復旧・復興の現状を知り、当時を振り返りながら、我々自身の備えや地域のつながりなどを考え啓発する		
事業内容	東日本大震災、熊本地震、能登半島地震など震災を自分事として捉え、地域の防災力向上につなげていくことを目指し2つの事業を実施する。①大川小学校の遺族たちによる裁判の経過を記録したドキュメンタリー映画の上映と、監督や遺族から被災地の現状と課題などについての講話 ②輪島市の消防士による体験談と、弁護士による被災時に役立つ制度や知識の講演		
③ 一般社団法人なんじゃもんじゃの木		所管課	こども家庭保健課
名称	子どもの遊びと出張子育て相談の場		新規
テーマ	多様な個性を支える早期相談の地域モデルづくり		
事業内容	子どもや家庭が気軽に利用できる相談支援の実施。児童館(園)や学校など、子どもが日常的に過ごす場所へ専門職が出向き、教(保)育の現場で増えている「診断は無いが困り事を抱える子ども」への理解の必要性和公的療育の逼迫／支援者の孤立といった課題に対し、子どもの個性に即した環境づくりと社会的認識を広げて地域全体の支援力を高めることで、柔軟で持続可能な支援モデルの構築を目指す。		
④ 原市沼を愛する会		所管課	環境政策課
名称	原市沼蓮池の古代蓮の育成・管理		新規
テーマ	蓮池の安全性向上と古代蓮の育成管理		
事業内容	原市沼蓮池では古代蓮を育成管理し、毎年5,000輪余の蓮が開花する。開花の時期には数千人の方々が訪れ、写真撮影や写生など思い思いの鑑賞方法で楽しまれている。また、蓮池は小学生の環境学習の場や保育園児が自然に触れる場、高齢者の憩いの場として30年以上親しまれており、来場者の安全対策や環境の保全など継続的な維持管理に務める。		
⑤ 上尾地域リハビリテーションネットワーク		所管課	スポーツ振興課
名称	夢を形に！プロ選手とつなぐ上尾キッズスポーツ・ドリームプロジェクト		新規
テーマ	プロスポーツ選手との交流を通じた子供たちの健全育成と地域活性化		
事業内容	「夢を形に！プロ選手とつなぐ上尾キッズスポーツ・ドリームプロジェクト」と題して、プロ選手によるトークイベント／スポーツ体験会や、オリジナルノベルティの制作／配布、動画の制作／配信を行い、子どもたちの夢の醸成と健全育成、スポーツの楽しさの普及および地域スポーツの活性化による多世代交流の促進を目指す。		
⑥ かわLOVEっこ		所管課	市民協働推進課
名称	青空ひろば		新規
テーマ	みんなの ちいさな 居場所		
事業内容	家でも学校でも塾でもない、指図されたり時間に縛られたりしない、子ども達が自らの思いを行動に移すことのできる場があっても良いのではないかとの思いから、「青空ひろば～本のある居場所」を開催する。音楽の演奏やゲームなどを通じ、聴く楽しみや披露する喜びを体験できる場として、子ども達のみならず高齢者のフレイル対策としても有効活用を目指す。		



上尾相撲甚句会

設立 2023年（令和5年）
会員数 6名
代表 渡邊 幸久 さん

■相撲甚句(すもうじんく)とは



相撲甚句とは、大相撲の地方巡業などで力士が唄う甚句（七五調の民謡）のことをいいます。土俵上で複数の力士が輪になり、その中央で独りの力士が無伴奏で甚句を唄い上げます。他の力士たちは手拍子と「あ〜どすこい どすこい」といった合いの手を入れて盛り上げます。

甚句の歌詞には、昔からの相撲にちなむものの他、地方の名所・名物・名産品などを盛り込んだ地元唄もあり、お客さんを楽しませてくれます。

相撲甚句は、江戸時代(享保年間)に流行した「甚句節」が大相撲の世界に取り入れられたのが発端と言われています。そして、明治時代以降に「前唄・本唄・囃子唄(はやしうた)」という三部構成が確立されて伝統芸能としての体裁が整えられ、現在まで続いているのだそうです。

「相撲甚句会」は全国各地にあり、地域の大相撲ファンや伝統芸能の愛好家、あるいは元力士が中心となって結成された民間団体・民謡の保存会として運営されています。

全国から相撲甚句の愛好家が集まり、自慢の喉を競い合う「相撲甚句全国大会」というイベントも30年以上前から催されています。

■発足のきっかけ

「上尾相撲甚句会」は、2023年（令和5年）5月5日に誕生しました。元々は、現メンバーが埼玉県民活動センターで約20年間活動していた「武州伊奈相撲甚句会」に参加していたことに始まります。「武州伊奈相撲甚句会」は、上尾、伊奈、久喜、大宮など広い地域で活動しており、公演回数も300回を超えていましたが、メンバーの高齢化などにより移動を含めた広域での活動が負担となってきました。そのような中で、地域を上尾に絞って活動してみようという話になり、上尾在住メンバーによる「上尾相撲甚句会」が発足しました。

甚句を唄うためには発声練習が不可欠で、腹式呼吸による発声を鍛錬しますが、腹式呼吸による健康増進を目的に参加したメンバーもいます。

■活動状況

現在は6名のメンバーで活動しています。

原則として毎月第1・3土曜日に、上尾市内の小学校の音楽室や上尾公民館などを借りて練習をしています。

主な活動は、高齢者施設や地域イベントでの公演です。デイサービスや特別養護老人ホームなどの福祉施設、自治会や町内会からの依頼が中心で、月に1〜2回のペースで公演を行っています。特に9月の敬老の日前後は非常に多忙で、毎週のように公演予定が入ることもあります。

公演は、1ステージ約40分で構成されます。着物姿で扇子を手にし、楽器を一切使わずに地声のみで唄います。単に唄を披露するだけではなく、相撲の歴史解説やユーモアを交えた説明をおこないます。お客様には「あ〜どすこい どすこい」などの合いの手を入れてもらう参加型のスタイルを取り入れています。

一般市民を対象とした公演も行っており、直近の公演では約100名の集客がありました。また、公民館での市民講座なども実施しており、公演と同規模の受講者が集まることもあります。



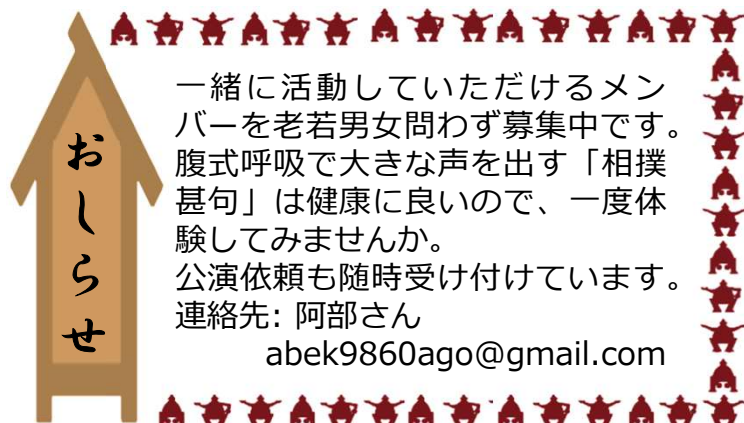
ショーサンプラザセンターコートでの公演

2026年3月22日

■今後の予定

今年も、高齢者施設や町内会からの依頼による公演が予定されています。また、広く市民の皆様にお楽しみいただける一般公演も予定されていますので、決まり次第、市民活動支援センターなどからお知らせいたします。

地元の名所旧跡などを歌詞に盛り込んだ「上尾甚句」の作成も計画されています。



一緒に活動していただけるメンバーを老若男女問わず募集中です。腹式呼吸で大きな声を出す「相撲甚句」は健康に良いので、一度体験してみませんか。公演依頼も随時受け付けています。連絡先: 阿部さん
abek9860ago@gmail.com



原市沼 蓮の花一般公開

(令和8年度協働のまちづくり推進事業)

入場
無料

原市沼蓮池の蓮の花が一般公開されています。
蓮の花は、朝6時～9時くらいの
時間帯が見頃です。

滑りにくい靴・飲み物持参で
お出かけください。

期 間: 7月1日(水)～31日(金)

時 間: 6:00～12:00(開錠しています)

場 所: 原市沼の蓮池

(ニューシャトル沼南駅から徒歩5分)

問合せ: 原市沼を愛する会 (飯坂さん)

☎ 048-774-8094

✉ iizakayj@sirius.ocn.ne.jp



無料 鈴虫頒布会

心に癒しを！
涼やかな音色を
お楽しみください！



① 7月26日(日) 9:30～11:30

上尾市立富士見小学校 体育館裏

② 8月 2日(日) 9:30～11:30

あげお富士住建ホール(上尾市文化センター)

③ 8月 9日(日) 9:30～11:30

ショーサンプラザ(上尾駅西口前、イトコガール)

*飼育容器を持参して直接おいでください。

主催/問合せ: 上尾スズムシの会 (渡邊さん)

☎ 090-2178-0626

編集

後記

◆気象庁において、気温40℃以上の日の名称が“酷暑日”となりました。酷という文字がまさしく言い得ていると思います。昔の漫画『銀河鉄道999』で「ここは気温39℃、不快指数100」みたいなセリフがありましたが、自分の生活環境がこうもなろうとは…。みなさん、ためわらずに生命維持装置(エアコン)を起動させてください。(明・淳・高)

第4回あげおボランティア祭り

(令和8年度協働のまちづくり推進事業)

日 時: 9月19日(土) 10:00～15:00

会 場: 三井金属あげおコミュニティセンター
(上尾市コミュニティセンター)

内 容: 活動紹介・パネル展示
実技・実演披露・体験

主催/問合せ: 上尾市ボランティア連絡会

☎ 090-2452-2164 (本城さん)

後援: 上尾市/上尾市社会福祉協議会/
上尾市地域振興公社

予告

センター利用登録団体の皆様へ

アンケートご協力のお願い

市民活動支援センターでは、第4次上尾市市民活動推進計画(令和6年度～令和10年度)の実施にあたり、ご登録いただいている市民活動団体の現状と意向を把握し、今後の事業計画の進捗管理に反映させることを目的として、以下のとおり団体向けアンケートを実施いたします。ご協力よろしくお願いいたします。

【実施方法】

令和8年10月中に、アンケート用紙を各団体(ご連絡者様宛)へ郵送いたしますので、回答をご記入の上ご返送ください。



皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています！

◎編集・発行 上尾市市民活動支援センター



開館日: 火～日 午前9時～午後9時(土・日曜は午後5時迄)

休館日: 毎週月曜、火～金の祝日、年末年始

電 話: 048-778-1810 ファクス: 048-778-1820

Eメール: s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ: www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/

X(旧ツイッター): @Ageo_shiminkatu



公式X(旧ツイッター)で情報
発信中！フォローをお願いします

情報紙タイトル“むすびん”は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつけたいという思いを込めています。

【案内図】

上尾市市民活動支援センター
プラザ館 3階

